

2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名	株式会社 アイ・オー・データ機器	上場取引所	東
コード番号	6916	URL	http://www.iodata.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)濱田 尚則	
問合せ先責任者	(役職名)社長室 室長	(氏名)真田 秀樹	(TEL)076(260)3377
四半期報告書提出予定日	2019年2月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有 (アナリスト向け)		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績 (2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	30,227	10.8	1,315	17.7	1,317	16.0	848	12.5
2018年6月期第2四半期	27,273	16.4	1,118	△15.3	1,136	△6.7	754	△20.4

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 751百万円 (△19.4%) 2018年6月期第2四半期 932百万円 (△57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	62.25	—
2018年6月期第2四半期	56.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	42,580	25,982	60.7
2018年6月期	39,792	25,675	64.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 25,847百万円 2018年6月期 25,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.2	2,800	△5.8	2,800	△7.0	1,900	△8.1	139.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期2Q	14,839,349株	2018年6月期	14,839,349株
2019年6月期2Q	1,230,679株	2018年6月期	1,207,377株
2019年6月期2Q	13,631,162株	2018年6月期2Q	13,301,741株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、決算説明資料は2019年2月15日(金)付で当社ホームページ(<http://www.iodata.jp/company/ir/index.htm>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて企業収益や個人消費の改善が続き、緩やかな回復基調を迎いましたが、国際情勢を巡る様々な懸念から、先行き不透明感は月を追う毎に高まりました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、働き方改革の推進やPCの更新需要等から上向き企業のIT投資が牽引し堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、商品・サービスの拡充を通じて伸張する法人需要の獲得に努めるとともに、注目のeスポーツ市場への展開強化、新4K衛星放送対応チューナーの上市等進めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は302億27百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は13億15百万円（前年同期比17.7%増）、経常利益は13億17百万円（前年同期比16.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損44百万円を特別損失に計上したこと等から、8億48百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業の概況を品目別に説明いたします。

[メモリ]

当部門の売上高は11億63百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

前年同期との比較において、メモリモジュールは販売低調により減収、メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは半導体市場に連動し販売単価が下落したことにより減収となりました。

[ストレージ]

当部門の売上高は72億53百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

前年同期との比較において、主力のハードディスクは、シェアアップによる販売伸張と単価改善により増収となりました。一方、光ディスクドライブは、販売伸び悩みと単価低下が重なり減収となりました。

[液晶]

当部門の売上高は78億67百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

企業のIT投資増も追い風に、オフィスモデルや大型モニターの販売が好調に推移した他、eスポーツやデジタルサイネージ市場の開拓を着実に進めました。

[周辺機器]

当部門の売上高は39億52百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

前年同期との比較において、無線LANやNAS等のネットワーク分野、新4K衛星放送・地デジチューナーやビデオキャプチャー等の映像関連分野ともに販売は堅調に推移し増収となりました。

[特注製品]

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEMおよび特注品の販売を主とする当部門は案件獲得が進み、売上高は5億13百万円（前年同期比88.1%増）となりました。

[商品およびその他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、サムスン電子製SSD等フラッシュメモリやスマートフォン関連商品、WDブランド商品等の販売好調により、売上高は94億76百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて27億88百万円増加し、425億80百万円となりました。これは、現金及び預金が34億2百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が29億87百万円、たな卸資産が21億29百万円、物流倉庫建設に伴う建設仮勘定が6億82百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて24億81百万円増加し、165億98百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が22億13百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億6百万円増加し、259億82百万円となりました。これは、剰余金の配当により利益剰余金が4億8百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益8億48百万円の計上等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて34億2百万円減少し、57億12百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は19億84百万円(前年同期は3億42百万円の獲得)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益12億72百万円の計上、仕入債務の増加22億13百万円による資金増加と、売上債権の増加28億97百万円、たな卸資産の増加21億29百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億16百万円(前年同期は6億46百万円の使用)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出9億9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億7百万円(前年同期は5億27百万円の獲得)となりました。これは、配当金の支払による支出4億7百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績進捗を勘案し、2018年8月9日付「2018年6月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2019年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,114	5,712
受取手形及び売掛金	11,854	14,841
商品及び製品	8,080	9,953
原材料及び貯蔵品	1,992	2,249
その他	664	978
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	31,705	33,734
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
建設仮勘定	802	1,484
その他(純額)	937	938
有形固定資産合計	4,621	5,304
無形固定資産		
	1,267	1,235
投資その他の資産		
その他	2,214	2,321
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,198	2,306
固定資産合計	8,086	8,846
資産合計	39,792	42,580
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,306	10,519
1年内返済予定の長期借入金	93	281
未払法人税等	524	617
ポイント引当金	5	3
賞与引当金	—	180
その他	3,332	3,291
流動負債合計	12,262	14,894
固定負債		
長期借入金	1,406	1,218
役員退職慰労引当金	83	83
リサイクル費用引当金	308	316
製品保証引当金	15	46
その他	40	38
固定負債合計	1,854	1,704
負債合計	14,116	16,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	17,503	17,943
自己株式	△722	△747
株主資本合計	24,970	25,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	184
繰延ヘッジ損益	218	205
為替換算調整勘定	71	73
その他の包括利益累計額合計	575	463
非支配株主持分	129	135
純資産合計	25,675	25,982
負債純資産合計	39,792	42,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	27,273	30,227
売上原価	22,330	24,614
売上総利益	4,942	5,613
販売費及び一般管理費	3,824	4,297
営業利益	1,118	1,315
営業外収益		
受取利息	3	8
仕入割引	36	29
為替差益	12	—
持分法による投資利益	12	11
その他	37	49
営業外収益合計	102	98
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	24
売上割引	81	67
その他	2	3
営業外費用合計	84	96
経常利益	1,136	1,317
特別損失		
投資有価証券評価損	—	44
特別損失合計	—	44
税金等調整前四半期純利益	1,136	1,272
法人税、住民税及び事業税	336	637
法人税等調整額	△0	△229
法人税等合計	335	408
四半期純利益	800	864
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	754	848

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	800	864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	△101
繰延ヘッジ損益	△23	△13
為替換算調整勘定	57	1
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	132	△112
四半期包括利益	932	751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	886	735
非支配株主に係る四半期包括利益	45	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,136	1,272
減価償却費	122	272
受取利息及び受取配当金	△8	△14
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△2,418	△2,897
たな卸資産の増減額(△は増加)	183	△2,129
仕入債務の増減額(△は減少)	1,402	2,213
その他	254	△180
小計	670	△1,462
利息及び配当金の受取額	22	26
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△350	△548
営業活動によるキャッシュ・フロー	342	△1,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△623	△909
投資有価証券の取得による支出	△22	△2
その他	△0	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646	△916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	—
配当金の支払額	△321	△407
自己株式の取得による支出	△0	△25
自己株式の処分による収入	799	—
その他	—	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	527	△507
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264	△3,402
現金及び現金同等物の期首残高	5,874	9,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,139	5,712

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。